

第4章 まちづくりの基本目標

「目指すべき都市像」を実現するためには、私たちが具体的な目標を共有し、その目標に向かって連携しながら課題に取り組んでいく必要があります。

そこで、この章では、まちづくりの分野を7つに分け、その分野ごとに「現状と課題」を整理し、今後の取り組みを展開する際の「重要な視点」を掲げた上で、まちづくりに関する「基本目標」を設定します。

また、私たちが、今後のまちづくりの方向性を具体的にイメージできるようにするため、基本目標ごとに「将来のまちの姿」を示すとともに、その実現に向けて同じ方向で取り組んでいけるよう、「実現に向けて私たちが取り組むこと」を明記しています。この「取り組み」の記載に当たっては、【市民】や【企業】などが、それぞれの立場で取り組むべきことを表しており、【行政】については、札幌市が他の行政機関などを含めた各主体と連携を図りながら取り組むべきことを表しています。

なお、まちづくりの実践に当たっては、市民、企業、行政など、さまざまな主体が、「取り組み」の決定過程に参画し、相互に補完し合いながら責任を持って進めることが重要です。

目指すべき都市像

地域

地域での支え合いとつながりづくり

共生と交流により人と人がつながるまちにします

さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします

多様な地域課題を解決できるまちにします

経済

暮らしと雇用を支える経済の発展

強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

さまざまな連携により産業が高度化するまちにします

市民の雇用が安定的に確保されるまちにします

強みを生かしグローバル化に対応するまちにします

地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

子ども・若者

将来を担う子ども・若者の健やかな育み

安心して子どもを産み育てられるまちにします

将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

安全・安心

安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり

誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

地域防災力が高く災害に強いまちにします

安全な日常生活が送れるまちにします

環境

次世代へつなげる持続可能なまちづくり

豊かな自然と共生するまちにします

資源やエネルギーを有効活用するまちにします

市民が環境について学び行動するまちにします

文化

文化芸術・スポーツによる創造性の育み

創造的な活動により活力あふれるまちにします

文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします

市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします

都市空間

魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり

公共交通を中心とした集約型のまちにします

札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします

都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします

都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

第1節 地域 ～つながりと支え合い～

<現状と課題>

市民の意識や生活様式の変化、価値観の多様化などにより、地域⁴⁶における課題が複雑・多様化しており、これまでの取り組みだけでは解決が難しくなっています。

今後は、住民同士の支え合いや助け合いが地域課題の解決に重要な役割を担うことが期待されており、そのためには地域のつながりを深め、町内会などの地域コミュニティを活性化していく必要があります。

また、ボランティアやNPO、企業などによる社会貢献活動も広がってきており、これらの多様な活動の担い手の連携による地域課題の解決が求められます。

現状と課題を踏まえた重要な視点

—地域での支え合いとつながりづくり—

地域での支え合いを実現するためには、世代や性別、国籍、文化の違い、障がいの有無などにかかわらず、地域の人々がお互いを認め合いながら、社会参加や交流を通じてつながりを深めていくことが重要となります。また、市民一人ひとりや、町内会、NPO、企業などが、地域課題を自らの問題と考えて主体的に活動し、お互いに連携しながらネットワークを構築していく必要があります。

このような取り組みにより、地域自らがさまざまな地域課題を解決していける力を向上させるとともに、住民同士が支え合いながら暮らしていけるまちづくりを進める必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします
- 2 さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします
- 3 多様な地域課題を解決できるまちにします

⁴⁶ 【地域】 この場合の地域は、行政区より小さい、生活に身近な空間的広がりを指す。

基本目標

1 共生と交流により人と人がつながるまちにします

将来のまちの姿

- 地域では、世代を超えたさまざまな交流などを通じて住民同士のつながりが深まり、世代の違いや障がいの有無にかかわらず、支え合いにより自立した生活を送っています。また、誰もが持てる能力を十分に発揮して、積極的に社会参加しています。
- 地域を超えた市民同士や市民と団体などとのつながりも広がっており、重層的で多様なまちづくりのネットワークが広がっています。
- 男女がお互いを尊重し、責任を分かち合う男女共同参画社会⁴⁷が実現され、さまざまな分野で協力しながら活動しています。
- 地域における多文化共生⁴⁸の意識が醸成され、さまざまな国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらず、お互いを認め合い、地域の一員として生活しています。
- 住民が集える居場所や交流の場が身近にあり、そこで生まれたつながりを通じて地域コミュニティが活性化しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 住民同士の交流や支え合い活動への積極的な参加
- 高齢者、障がい児・者への理解（再掲）
- 外国人や多様な歴史・文化への理解
- 平和や人権に対する理解

【町内会・NPO・企業等】

- 住民同士による交流や支え合い活動の推進
- 地域における多文化共生の推進
- 市民の居場所づくり

【行政】

- 多世代交流などの推進
- 障がい児・者への市民理解の促進
- 男女共同参画社会に対する市民理解の促進
- 国際理解を深める取り組みの推進
- 平和への取り組みの推進
- 多様な価値観に対応する人権教育の充実
- アイヌ民族の歴史・文化への市民理解の促進
- 市民の居場所づくりへの支援

⁴⁷ 【男女共同参画社会】 男性と女性が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野の活動に参画する機会を確保されることにより、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を等しく享受するとともに、等しく責任を担う社会

⁴⁸ 【多文化共生】 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

基本目標

2 さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加する まちにします

将来のまちの姿

- ▶ 子どもから高齢者まで、全ての市民が、さまざまな学びの機会を活用しながら、それぞれが持つ能力や経験を生かし、自分に合った形で主体的に地域のまちづくり活動に参加し、活躍しています。
- ▶ 地域のまちづくり活動の中核を担っている町内会への加入が進み、地域コミュニティが活性化しています。
- ▶ 町内会をはじめ、NPO、商店街、企業など、多様な活動主体がさまざまな地域のまちづくり活動に取り組んでいます。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 町内会活動をはじめとした地域のまちづくり活動への積極的な参加
- 生涯学習⁴⁹などを通じた自己啓発

【町内会・NPO等】

- 地域のまちづくり活動の推進
- 地域のまちづくり活動を通じた担い手の育成

【企業等】

- CSR⁵⁰活動などを通じた地域のまちづくり活動へ積極的な参加

【行政】

- 市民が地域のまちづくり活動に参加できる環境づくり
- 市民の自発的な生涯学習の促進
- 学びと地域のまちづくり活動の実践が繰り返されるしくみづくり
- 多様な活動主体が地域のまちづくり活動に取り組める環境づくり
- 市民や企業による地域のまちづくり活動を支える寄附文化の醸成

⁴⁹ 【生涯学習】 学校での教育や学習のみならず、生涯にわたって、あらゆる機会や場所において、各人の興味・関心や社会的な課題などに応じ、自発的な意思と選択に基づき行われるさまざまな学習活動のこと

⁵⁰ 【CSR】 コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ(Corporate Social Responsibility)の略。企業の社会的責任。法令順守や社会貢献など、一般に企業が社会に対して果たすべき責任

基本目標

3 多様な地域課題を解決できるまちにします

将来のまちの姿

- 地域ごとに年齢や世帯構成、居住形態などの違いが顕著になり、地域課題が複雑・多様化している中、これらの課題は住民や地域の団体、企業などによる自主的な活動や行政による支援を通じて解決されています。
- 地域のまちづくり活動を実践するさまざまな主体が、お互いに連携し、相乗効果を生みながら活発に活動しています。
- ソーシャルビジネス⁵¹やコミュニティビジネス⁵²など、ビジネスの手法を活用して地域課題を解決する活動も活発に行われています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

○地域のまちづくり活動への積極的な参加

【町内会】

○地域課題の解決に向けた取り組みの推進

○地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

【企業・NPO等】

○地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

○ビジネスの手法を活用した地域課題の解決に向けた取り組みの推進

【行政】

○福祉や防災、防火、防犯など、地域ごとの課題を踏まえた施策の展開

○町内会など地域のまちづくり活動団体の活性化の支援

○地域のまちづくりに関する情報提供

○区役所、まちづくりセンターにおける地域課題の的確な把握、迅速な支援体制づくり

○活動主体間の連携を促進するためのネットワークづくり、調整機能の強化

○ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの振興（再掲）

⁵¹ 【ソーシャルビジネス】 環境、医療、福祉など地域のさまざまな社会的課題を、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業

⁵² 【コミュニティビジネス】 地域の課題を住民やNPO、企業などが連携して、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業

第2節 経済 ～暮らしと雇用を支える～

<現状と課題>

産業の活性化は、都市の活力を高めるとともに、安定的な雇用を創出し、社会の持続可能な発展を支える重要な役割を担っており、市民の安心な暮らしを実現する上で欠かすことのできないものです。

このため、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化の進展など、札幌を取り巻く社会経済情勢の変化に対応できる足腰の強い経済基盤を確立させることが必要となっています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

—暮らしと雇用を支える経済の発展—

経済の発展と安定的な雇用の確保のためには、札幌の経済をけん引していく産業分野を明確に定め、積極的な振興を図ることが重要です。また、創造性や地域特性を生かした付加価値の創出やグローバル化への対応などにより、産業全体の活性化を図り、競争力を高めることが必要です。さらに、地域コミュニティを支える産業を育てていくことが求められています。

基本目標の設定

基本目標

- 4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします
- 5 さまざまな連携により産業が高度化するまちにします
- 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします
- 7 強みを生かしグローバル化に対応するまちにします
- 8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

基本目標

4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

将来のまちの姿

- 札幌・北海道の強みや時代の潮流を捉え、食、観光、環境、健康・福祉の4つの重点産業分野やそれに関連するさまざまな産業が一体となって札幌の経済成長をけん引し、足腰の強い経済基盤が確立しています。
- 従来の製造業にバイオ産業⁵³、IT産業⁵⁴、コンテンツ産業⁵⁵を加えた「札幌型ものづくり産業」が根付き、他分野との連携により新たなビジネスが生まれています。
- 札幌の企業の大半を構成している中小企業の活動が活性化し、裾野の広い経済基盤が確立しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 地場の中小企業の発展への協力
- 地産地消⁵⁶の実践

【企業、大学・研究機関等】

- 他産業との連携による付加価値の向上
- 共同研究による製品開発や付加価値の向上

【行政】

- 食、観光、環境、健康・福祉の4つの産業分野の重点的な振興
- 道産食品の付加価値を高める6次産業化⁵⁷や都市型農業⁵⁸の推進などによる食関連産業の活性化
- 広域連携による観光振興やMICE⁵⁹の推進、戦略的なシティプロモート活動などによる観光関連産業の活性化
- 札幌型ものづくり産業の振興
- 中小企業の積極的な経済活動を促進するための支援

⁵³ 【バイオ産業】 バイオテクノロジー技術を応用して商品開発を行う産業

⁵⁴ 【IT産業】 情報処理、情報技術に関連する産業の総称

⁵⁵ 【コンテンツ産業】 各種メディアを通じて提供されるアニメ・漫画・映画・ゲームシナリオなどのコンテンツを制作する事業全般のこと

⁵⁶ 【地産地消】 地域生産地域消費の略語で、地域で生産されたさまざまな生産物や資源(主に農産物や水産物)をその地域で消費すること

⁵⁷ 【6次産業化】 第1産業、第2次産業、第3次産業を融合させ、新たな産業振興を行うという考え方

⁵⁸ 【都市型農業】 都市近郊の農業一般を意味し、大消費地に近い農業地域、都市の生産緑地、市民農園などにおいて営まれる農業を包含する概念

⁵⁹ 【MICE】 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称で、Meeting(会議・セミナー)、Incentive Travel(Tour)(企業報奨・研修旅行)、Convention(大会・学会・国際会議)、Exhibition(イベント・展示会・見本市)の頭文字のこと

基本目標

5 さまざまな連携により産業が高度化するまちにします

将来のまちの姿

- ▶ 時代の潮流から生み出される新たな需要を的確に捉え、産・学・官の連携や同業種・異業種間の連携などにより、創造性を発揮したさまざまなイノベーション⁶⁰が起きています。
- ▶ 道外から多くの先端技術分野の企業などが進出し、札幌圏⁶¹に集積しています。これにより取引関係が広がるとともに、地場産業の付加価値が向上するなど、札幌圏を含めた北海道全体の産業の競争力が高まっています。
- ▶ 空港、港湾、高速道路、北海道新幹線などの広域的な交通ネットワークを効果的に活用し、道外や道内各市町村とのヒトやモノの流れが活発化しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【企業等】

- 道内外の企業などとの積極的な交流
- 新たな技術や製品の開発への挑戦
- 他産業などとの連携による技術革新や新市場開拓
- 新事業や新分野への事業展開

【行政】

- 新たな技術や製品の開発に向けた産・学・官連携の促進
- さまざまな産業における創造的なイノベーションの誘発の媒介となる IT 産業やコンテンツ産業などの振興
- 女性や若者の起業への支援
- 近隣自治体と連携した先端技術分野の企業などの誘致と地場企業との連携促進
- 広域的な交通ネットワークの整備（再掲）
- 道内外の自治体との広域的な連携

⁶⁰ 【イノベーション】新しい方法、しくみ、習慣などを導入することをいい、新製品の開発や生産方法の改良、新しい資源や原料の開発、導入、組織体制の改変などにより、新しい価値を生み出すこと

⁶¹ 【札幌圏】札幌市と行政、経済、環境などのさまざまな分野で結び付きの強い近隣市町村をまとめて指す呼び名

基本目標

6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします

将来のまちの姿

- 雇用の受け皿となる中小企業の経営基盤の強化や、雇用創出力の高い企業の市内や近隣市町村への進出、さらには求職者へのさまざまな就業支援などにより、市民の雇用が安定的に確保されています。
- 誰もがそれぞれの能力を生かして働くことで、自立して暮らしています。その中でも、働く意欲を持つ女性が地域経済を支える担い手として活躍しています。
- 市民や企業の間でワーク・ライフ・バランス⁶²の考え方が浸透し、実践されています。これにより市民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働いています。また、多くの企業が従業員の意欲、能力、創造性を引き出し、生産性を向上させるとともに、優秀な人材を確保することにより、社会全体が活性化しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 職業能力の向上や自己啓発
- 起業への積極的な挑戦
- ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践（再掲）

【企業等】

- 市民の能力を生かす積極的な雇用
- ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり（再掲）

【行政】

- 求職者の技能向上のための支援
- 雇用のミスマッチ解消や起業への支援
- 雇用創出力の高い企業の誘致
- 働く意欲のある障がい者、高齢者、女性などへの就業支援
- 子育て支援の充実
- 女性の起業への支援
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市民理解の促進や企業への支援（再掲）

⁶² 【ワーク・ライフ・バランス】 やりがいのある仕事と充実した個人生活が調和したバランスの良い働き方

基本目標

7 強みを生かしグローバル化に対応するまちにします

将来のまちの姿

- ▶ 札幌・北海道の強みを生かし、アジアをはじめとする経済成長の著しい地域からの観光客の増加やこのような地域への販路の拡大などにより、多くの外貨⁶³を獲得しています。
- ▶ 市内や近隣市町村への外国企業の進出により、新たな雇用や地場企業へのさまざまな波及効果が生まれています。
- ▶ 企業では、グローバル化に対応した国際的な視野を持った人材が活躍しています。
- ▶ 札幌・北海道の地理的な特性などを踏まえた海外とのさまざまな都市間交流や互恵的な国際協力が、新たなビジネスへの架け橋になっています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 外国人や多様な歴史・文化への理解（再掲）
- 留学などを通じた積極的な海外経験
- 外国人観光客などへのおもてなしの実践

【企業等】

- 積極的な海外事業の展開
- グローバル化に対応した人材の育成と活用

【行政】

- 流通ネットワークの強化
- コンテンツ⁶⁴などを活用した戦略的なシティプロモート⁶⁵活動の推進
- 外国企業の誘致のための施策の検討・推進
- 観光客の受入環境の整備
- 国際交流や国際理解教育⁶⁶などの推進
- 国際的な視野を持った人材の育成・確保
- 地理的特性を生かした国際協力の促進

⁶³ 【外貨】ここでは圏域内で流通する以外の貨幣を指す。

⁶⁴ 【コンテンツ】文章、音楽、画像、映像またはそれらを組み合わせた情報の集合のこと

⁶⁵ 【シティプロモート】まちの魅力を再発見し、創造することで新しい都市の輝きをつくり出すとともに、市民が誇りをもってその魅力を内外に発信することで、世界の人々と多様な関係をつくり出すための一連の活動

⁶⁶ 【国際理解教育】わが国の伝統と文化を大切に、世界の人々の多様な生活や文化を理解し尊重する態度を養うとともに、世界の平和に貢献し、国際社会で信頼と尊敬を得るにふさわしい資質を育成する教育

基本目標

8 地域コミュニティを支える産業を大切にす るまちにします

将来のまちの姿

- 地域の身近な利便性を確保する役割の一翼を担う商店街が活性化し、地域のにぎわいを生み出しています。
- ビジネスの手法を活用して地域課題の解決を実践するソーシャルビジネスやコミュニティビジネスが活発化し、地域コミュニティを支える産業としての役割を果たしています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

○地域の商店街活動への理解と協力、店舗の利用

【企業・NPO等】

○商店街活動への積極的な参加

○地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携（再掲）

【商店街】

○地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

【行政】

○商店街活性化に向けたさまざまな取り組みに対する支援

○ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの振興

○多様な活動主体とコミュニティビジネスの連携促進

第3節 子ども・若者 ～健やかに育む～

<現状と課題>

全国的に少子化が進む中、札幌市の合計特殊出生率⁶⁷は大都市の中でも極めて低い水準で推移しており、社会の活力に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

少子化の背景としては、子育て家庭の孤立化などによる子育てへの不安や負担感が増大していることが要因の一つとして考えられます。また、子どもや若者の成長過程では、いじめや虐待、不登校、引きこもりなどといった問題も生じています。

こうしたことから、社会全体で協力して子どもの成長を支え、誰もが子どもを生き育てやすい環境を整えていくとともに、困難を有する若者の自立や社会参加を支援していく必要があります。

現状と課題を踏まえた重要な視点

ー将来を担う子ども・若者の健やかな育みー

子どもを生き育てやすいまちづくりを進めるためには、子どもの権利⁶⁸の尊重の下、社会全体で子育て・子育て支援⁶⁹を推進し、子育てへの不安や負担の軽減を図るとともに、子どもの成長過程でのさまざまな問題に対応していく必要があります。

特に、ふるさと札幌に根差した自立した子どもを育てていくためには、全ての子どもたちに生きる力⁷⁰を培い、豊かな創造力を育む充実した教育の推進や、社会性を育む実践的な学びの機会を充実させていくことが重要です。

さらに、若者全ての社会的自立を実現するとともに、主体的に地域社会へ参画する取り組みなども進め、将来の札幌を担う人材を育成していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

9 安心して子どもを生き育てられるまちにします

10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

⁶⁷ 【合計特殊出生率】 15歳～49歳の女性の年齢別出生率の合計。1人の女性が平均して一生の間に生む子どもの数に相当する。

⁶⁸ 【子どもの権利】 「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」など、子どもが、毎日安心して過ごし、健やかに成長・発達するために欠かせない基本的な権利

⁶⁹ 【子育て支援】 子どもが将来自立した社会性のある大人へと自ら成長していく過程を支援すること

⁷⁰ 【生きる力】 基礎基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力。自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。たくましく生きるための健康、体力など

基本目標

9 安心して子どもを育てられるまちにします

将来のまちの姿

- 地域の団体や企業、NPO、行政によるさまざまな支援を通じて、安心して子育てができる環境が整っています。
- ワーク・ライフ・バランスの考え方が社会全体に浸透し、男性も女性も仕事と生活の調和を図り、働きながら子育てができる環境が整っています。
- 多様なニーズに対応したさまざまな保育サービスが提供され、子どもが小学校に入学した後も、放課後児童対策⁷¹などの支援体制が整っています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 男女の協力による子育て
- さまざまな子育て支援活動への積極的な参加
- ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践

【町内会・NPO等】

- 子育てサロン⁷²の開催など子育て支援活動の推進
- ニーズに即した子育て支援サービスの提供

【企業等】

- ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり
- ニーズに即した子育て支援サービスの提供

【行政】

- 母子保健の充実など妊娠期から出産、幼児期、思春期まで、子どもの成長過程に応じた支援
- 子育て家庭の孤立防止に向けた相談・支援体制の充実
- 市民が子育て支援活動に参加しやすいしくみづくり
- 地域の団体や企業、NPOなどとの連携・協力による子育て支援活動の推進
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市民理解の促進や企業への支援
- さまざまな保育サービスの提供
- 放課後の児童の居場所づくり

⁷¹ 【放課後児童対策】 昼間保護者のいない家庭の児童の健全育成・指導を目的とする児童クラブなどにおける活動のこと

⁷² 【子育てサロン】 子育て中の親子が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる場

基本目標

10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

将来のまちの姿

- ▶ 子どもたちは、一人ひとりの個性や特性を伸ばす充実した教育を受けることを通じて、生きる力を高め、豊かな創造力を身に付けながら成長しています。
- ▶ 家庭・地域・学校の連携による多様な体験活動などを通じて、子どもたちは自立した社会性のある大人へと成長しています。
- ▶ いじめや不登校、児童虐待などを未然に防ぐ環境が整っています。
- ▶ 配慮や支援を要する子どもは、充実した相談・支援体制などの下、個別の状況に応じて適切な支援を受けることができます。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 子どもの権利への理解
- さまざまな子育て支援活動への積極的な参加

【町内会・NPO等】

- 地域における体験活動などへの協力
- 学校教育との連携

【企業等】

- 体験学習などへの協力
- ボランティア活動への支援

【行政】

- 子どもの権利の理解促進
- 一人ひとりの個性や特性を伸ばす教育の充実
- 障がいのある子どもの自立と社会参加に向けた教育的支援
- 家庭・地域・学校の連携による体験活動などの推進
- 市民が子育て支援活動に参加しやすいしくみづくり
- 配慮や支援を要する子どもへの個別の状況に応じた適切な相談・支援体制の充実
- いじめ、不登校、児童虐待などを未然に防ぐための家庭や地域、関係機関との連携強化
- 家庭での養育が難しい子どもの養育環境・自立支援体制の充実
- 少子化に伴う児童生徒数の減少に対応した学校の統合など、子どもの社会性などをより一層育むための教育環境の向上

基本目標

11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

将来のまちの姿

- 全ての若者が社会的に自立できるよう、教育機関や企業、地域、行政などの連携・協力の下、充実した相談・支援体制が整っています。
- 地域や企業等と大学などの教育機関が連携し、学生に実践的な学びの場が提供されています。
- 若者の安定的な雇用が確保され、起業を支援する制度も充実するなど、働きやすい環境が整っています。
- 多くの若者が、さまざまなまちづくり活動への主体的な参加や新たな取り組みへの先駆的なチャレンジを通じて、地域課題の解決やまちの活力の向上に向けて力を発揮しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 大学と地域が連携した取り組みへの参加
- 職業能力の向上や自己啓発
- 起業への積極的な挑戦

【町内会・NPO等】

- 地域における体験活動などへの協力
- 大学など教育機関との連携

【企業等】

- 職業体験などへの協力
- 大学などの教育機関との連携

【行政】

- 国や北海道、支援機関との連携によるニート⁷³や引きこもりなどへの相談・支援体制の充実
- 大学などの教育機関と地域との連携促進
- 地域や企業との連携・協力による子どもの頃から社会体験や職業体験などの推進
- 若者の就業や起業への支援
- 若者の地域社会への参画の促進

⁷³ 【ニート】 仕事に就いておらず、就職活動もしていない若者のうち、家事も通学もしていない人

第4節 安全・安心 ～人に優しいまち～

<現状と課題>

高齢化の急速な進行によって、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯⁷⁴が増え、支援や介護を必要とする市民が増加しています。また、ニーズが複雑・多様化し、ライフステージ⁷⁵に応じた一貫した支援も求められていることから、必要なサービスが適切に受けられる環境づくりのほか、住民同士の支え合いや助け合いも求められています。また、日常の防犯や交通安全など、安全な暮らしの確保も求められています。

さらに、東日本大震災の教訓から、大規模な災害が発生した際には、市民・企業・行政の役割分担による相互連携の取り組みの重要性があらためて認識されており、それぞれが自らの役割を意識しながら災害に備えていくことが必要です。

現状と課題を踏まえた重要な視点

－安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり－

地域における住民同士の見守り・支え合いや、防犯活動などを通じた日常の安全の確保、市民の主体的な健康づくりなどを通じて、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めていく必要があります。また、多様化するニーズに対応した「きれめ」や「すきま」のないサービスや、安心できる医療体制の充実などを図っていくことが重要です。

そして、万が一の災害に備え、自分の身は自分で守る「自助」、地域で互いが助け合う「共助」、行政による消防・救助活動などの「公助」の役割をそれぞれが認識し、主体的に防災活動に取り組む「防災協働社会⁷⁶」を構築していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

13 地域防災力が高く災害に強いまちにします

14 安全な日常生活が送れるまちにします

⁷⁴ 【高齢夫婦世帯】 夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦 1 組のみの世帯

⁷⁵ 【ライフステージ】 人間の一生において節目となる出来事(出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職など)によって区分される生活環境の段階

⁷⁶ 【防災協働社会】 災害被害を軽減するため、地域の人々が互いに連携していく社会

基本目標

12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします

将来のまちの姿

- 高齢単身世帯の増加などに対応した見守り活動や、支援を要する市民への相談・支援体制の充実などを通じて、誰もが安心して暮らしています。
- 在宅医療⁷⁷や身近なかかりつけ医⁷⁸の普及促進などを通じて、地域と医療の結び付きが強まるとともに、充実した医療相談体制や救急医療体制により、市民の安心を支えています。
- 支援を要する高齢者や障がいのある方が安心して生活できるよう、適切なサービスが提供されています。
- 高齢者や障がいのある方など、さまざまな世帯のニーズに合った住まいが安定的に供給されています。
- 市民の主体的な健康づくり活動が活発に行われ、高齢になっても健やかに暮らしています。
- 食の安全が守られ、食に対する市民の安心と信頼が確保されており、誰もが健やかに豊かな食生活を送っています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 地域福祉活動などへの積極的な参加
- 高齢者、障がい児・者への理解
- 自主的な健康づくり活動
- 食の安全に対する意識の向上

【町内会・NPO等】

- 地域福祉活動の推進
- 健康づくり活動の推進

【企業等】

- ニーズに即した保健福祉サービスの提供
- 障がい者の雇用の推進
- 市民の自主的な健康づくり活動への支援
- 食の安全に関する取り組み
- 衛生管理に関する取り組み

【行政】

- 保健・医療・福祉のネットワーク強化
- 支援を必要とする市民への相談・支援体制強化
- 医療相談体制や救急医療体制の充実、地域の医療連携の推進
- 介護保険施設などのサービス基盤⁷⁹整備
- 障がい児・者のニーズやライフステージに対応した支援体制の充実、サービス基盤整備
- 住まいに関する情報提供の充実
- 市民の健康づくり活動の推進
- 食育⁸⁰環境の整備、食育の推進
- 心の健康づくりに向けた相談・支援体制の充実
- 市民や企業と連携した食の安全に対する取り組み
- 衛生面での市民への情報提供、事業者の自主的な活動への支援

⁷⁷ 【在宅医療】希望する市民ができる限り住み慣れた自宅などで療養し、医師などが訪ねて診療すること

⁷⁸ 【かかりつけ医】日頃から患者の体質、病歴や健康状態を把握し、診療のほかに健康管理上の助言などしてくれる身近な医師のこと

⁷⁹ 【サービス基盤】介護保険サービスや障がい福祉サービスを必要とする人が、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する施設及び事業所

⁸⁰ 【食育】「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け、生涯を通じて健全な食生活を実践できる人を育てること

基本目標

13 地域防災力が強く災害に強いまちにします

将来のまちの姿

- ▶ 子どもの頃からの継続した防火・防災教育や、地域における自主的な防災訓練などを通じて、地震などの災害や火災の発生時に市民一人ひとりが主体的に行動できる準備・体制が整っており、地域の防火・防災力が高まっています。
- ▶ 避難場所となる公共施設や上下水道、道路のほか、民間施設も含めた都市全体の耐震化などが進んでおり、自然災害による被害を最小化させる取り組みが進んでいます。
- ▶ 高齢者、障がいのある方、子ども、外国人など、災害時に一人で避難することが難しい市民も、災害発生時には円滑に避難できるような、細かな配慮がなされています。
- ▶ 万が一の災害発生に備え、防災関係機関や企業、道内他市町村との連携を通じて、大規模災害にも対応可能な防災力が確立しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 防災訓練などの自主防災活動への積極的な参加
- 自宅の防災対策・家庭内備蓄の推進

【町内会等】

- 自主防災組織⁸¹の結成
- 防災訓練などの自主防災活動の推進
- 災害時要援護者⁸²の避難支援体制の整備

【企業等】

- 所有建築物の耐震化の促進
- 防災訓練などの自主防災活動の推進
- 企業内備蓄の推進

【行政】

- 子どもの頃からの防火・防災教育の充実
- 市民、自主防災組織などとの連携・協力による防災対策の推進
- 災害時におけるライフライン⁸³や、交通ネットワークの確保
- 公共施設、上下水道、道路などの耐震化の推進
- 災害に関する積極的な情報提供
- 迅速な災害対策を行う体制の強化
- 緊急生活物資の確保などの支援体制の充実
- 災害時要援護者に対する支援の充実
- 災害時の防災関係機関、他市町村との広域的な連携体制の充実

⁸¹ 【自主防災組織】 災害対策基本法で規定されている、住民による任意の防災組織。主に町内会などが母体となって住民が自主的に連帯して防災活動を行う任意団体

⁸² 【災害時要援護者】 高齢者世帯、要介護者、障がい者、難病患者、妊婦、乳幼児・児童、日本語に不慣れな外国人など、災害時に自分や家族だけでは避難が難しい住民のこと

⁸³ 【ライフライン】 電気、ガス、水道、下水道、電話など、日常生活を送る上で必須の諸設備、供給線をいう。

基本目標

14 安全な日常生活が送れるまちにします

将来のまちの姿

- 犯罪や消費生活に関する問題の発生を防止する取り組みなど、市民の安全な暮らしを守る環境が整っています。
- 交通ルールの順守や自転車マナーの理解の促進によって、交通事故の少ない安全で安心な交通環境が実現しています。
- 都市生活型公害⁸⁴といわれる、自動車排出ガスによる大気汚染や騒音、悪臭などについて、適切な対策や市民への情報提供などを通じ、安心が確保されています。
- 公共交通機関の駅とその周辺、多くの人が集まる施設や住宅などでは、バリアフリー化⁸⁵やユニバーサルデザイン⁸⁶の導入が進んでおり、誰もが安全で快適に移動できる空間が整備されています。
- 雪対策に関して、市民・企業・行政の連携による冬の市民生活ルールの共有や、効果的で効率的な除排雪などを通じて、雪と共存した豊かな暮らしが実現しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 地域防犯活動や交通安全運動への積極的な参加
- 交通ルールなどの理解・順守
- 雪対策に関する理解・協力

【町内会・NPO等】

- 地域防犯活動や交通安全運動の推進
- 雪対策への協力

【企業等】

- 地域防犯活動や交通安全運動への支援
- バリアフリー化などの自主的な取り組み

【行政】

- 地域防犯の取り組みの推進
- 配偶者などからの暴力（DV⁸⁷）への対策の充実
- 消費者問題への対策の充実
- 事故危険箇所の解消や自転車マナーの理解促進などの交通安全対策の推進
- 都市生活型公害などの防止に向けた事業者への指導強化、市民への的確な情報提供
- 公共施設のバリアフリー化などの推進
- 市民や企業との連携・協力による雪対策の推進

⁸⁴ 【都市生活型公害】都市化の進展や生活様式の変化などによって発生する公害のことであり、工場などが原因者となって発生する従来の産業公害とは異なる。自動車の排出ガスによる大気汚染や騒音、生活排水による河川などの水質汚濁、近隣騒音などがある。

⁸⁵ 【バリアフリー】高齢者や障がい者などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路、建物、交通手段など物理的なものだけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めたすべての障害をなくすことを意味している。

⁸⁶ 【ユニバーサルデザイン】高齢者や障がい者のための特別な仕様をつくるのではなく、最初から多くの人の多様なニーズを反映して作られた製品、建物、環境のデザイン

⁸⁷ 【DV(ドメスティック・バイオレンス)】配偶者や恋人など親密な関係にある又はあった者から振るわれる暴力

第5節 環境 ～次世代へ引き継ぐ～

<現状と課題>

地球温暖化対策や福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、近年の環境問題は複雑・多様化しており、その対応に当たっては、自然環境の保全やエネルギー利用の見直し、環境負荷⁸⁸の少ないまちづくりなど多角的な取り組みが求められています。

また、札幌の財産である豊かなみどりは、その総量が減少傾向にあるため、市民・企業・地域・行政の連携・協力により、今あるみどりを守るとともに、新たに創出していくことが求められています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

—次世代へつなげる持続可能なまちづくり—

複雑・多様化する環境問題に対応するため、市民・企業・地域・行政が一丸となって、みどりの保全・創出やごみの減量・リサイクルなど、環境の保全・創造に関する取り組みを引き続き進める必要があります。

また、再生可能エネルギーの活用などに関する研究・開発・普及やエネルギー利用の在り方に関する市民意識の醸成を図ることにより、社会全体でエネルギー利用の在り方を考えながら、低炭素社会と脱原発依存社会を目指していく必要があります。

そして、市民が環境の保全・創造について学び、実践する環境づくりを進めることにより、札幌が持つ四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に引き継ぎ、より良い環境を創造する持続可能な都市「環境首都・札幌」を推進していくことが重要です。

基本目標の設定

基本目標

15 豊かな自然と共生するまちにします

16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

17 市民が環境について学び行動するまちにします

⁸⁸ 【環境負荷】 人の活動により自然環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。

基本目標

15 豊かな自然と共生するまちにします

将来のまちの姿

- まちにうるおいや安らぎを与えるとともに、地球環境にとっても大切なみどりをみんなで守り育てる取り組みによって、森林や農地、公園などに加え、民有地でもみどりの保全・創出が進み、みどり豊かで住み心地のよいまちが形成されています。
- 市民にうるおいと安らぎを与えるほか、全ての生物にとっても欠かすことのできない水については、その質や量だけでなく、生物と生息環境、水辺とのふれあいといった水環境全体が守られています。
- 自然環境を守り育むなど、地球環境への負荷を低減する取り組みによって、生物多様性⁸⁹が保全されています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加
- 河川周辺の環境保全の取り組み
- 生物多様性に関する理解

【町内会・NPO等】

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動の実施や情報発信、市民などへの助言

【企業等】

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加
- 所有地やその周辺などの緑化の推進（再掲）
- 生物多様性を意識した取り組みの実施

【行政】

- 公有地のみどりの保全・創出
- 市民・企業・地域との連携・協力によるみどりの保全・創出
- 市民・企業・地域との連携・協力による水環境の保全や水環境への負荷を低減する取り組みの推進
- 生物多様性を意識した取り組みの推進

⁸⁹ 【生物多様性】地球上の多種多様な生き物全てがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、生態系・種・遺伝子の3つの多様性からなるもの

基本目標

16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします

将来のまちの姿

- ごみの減量、リサイクル、再利用が積極的に行われており、資源循環型の社会⁹⁰となっています。
- 省エネルギー技術や次世代エネルギーシステムについては、ICT⁹¹との連携などの研究・開発が進められることにより、その利用が進んでいます。
- 特にエネルギー消費量の多い都心部を中心に、効率的なエネルギー利用が図られています。
- 積雪寒冷地であり、家庭などの二酸化炭素の排出量が多いことに対応した、エネルギー消費を抑えた市民のライフスタイルが定着しています。
- 環境に配慮した自動車の普及が進むとともに、公共交通機関が積極的に利用されることにより、移動にかかるエネルギー消費を抑えた社会となっています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- ごみの減量、分別、リサイクルの実践
- 使い捨て製品の使用抑制
- エネルギー消費を抑えたライフスタイルの実践
- 積極的な省エネ家電・新エネ機器・次世代自動車⁹²への買い替え、高断熱・高気密住宅への改修・建て替え
- エコドライブ⁹³の実践
- 公共交通機関の積極的な利用（再掲）

【町内会・NPO等】

- 環境の保全・創造活動の推進
- 集団資源回収の実施など、ごみ減量・リサイクル活動の推進

【企業等】

- ごみの減量、分別、リサイクルの実践
- 省エネ設備などの積極的な導入や環境負荷の低減への配慮
- 環境配慮型製品の開発や製造の推進
- 環境の保全・創造に関する新技術の開発・普及

【行政】

- ごみの減量やリサイクル、再利用の取り組みの促進
- ごみの適正な処理の推進
- 企業や研究機関などとの連携による次世代エネルギーシステム⁹⁴に関する研究・開発・普及の促進
- エネルギー消費を抑えた市民生活・企業活動の促進
- 環境に配慮した自動車の普及促進
- 高断熱・高気密住宅の普及促進
- 公共交通機関の利便性向上や利用の促進（再掲）
- 環境関連産業⁹⁵の振興

⁹⁰ 【資源循環型の社会】 廃棄物の発生抑制、循環的な利用、適正処分により天然資源の消費を抑制して環境への負荷ができる限り低減される社会

⁹¹ 【ICT】 情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称

⁹² 【次世代自動車】 ハイブリッド自動車・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車・クリーンディーゼル自動車・天然ガス自動車など、走行時における環境負荷が小さい自動車の総称

⁹³ 【エコドライブ】 地球環境にやさしい自動車の運転

⁹⁴ 【次世代エネルギーシステム】 太陽光発電などの再生可能エネルギーシステムや電気と熱を同時に作り出すシステムなどに加え、IT 技術を活用して電力供給、需要に係る課題に対応する送電システムなど、効率的なエネルギー利用を可能とするシステム全般をいう。

⁹⁵ 【環境関連産業】 廃棄物の適正処理や資源リサイクルを担う産業や、エネルギーを有効活用する上で必要となる省エネルギー技術や未利用エネルギー活用技術を生かした産業など、環境保全に寄与する産業分野を指す。

基本目標

17 市民が環境について学び行動するまちにします

将来のまちの姿

- 市民や企業などは、地球温暖化⁹⁶や生物多様性などへの問題意識を持ち、環境の保全・創造のために自ら考え、行動しています。
- 子どもたちは、日常生活に根差した学習活動を通じて、広く環境問題に関心を持っています。
- 市民や企業などは、ふるさと札幌の美しい自然・環境を守り育てる意識を持ちながら、持続可能なまちづくりに主体的に取り組んでいます。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 環境の保全・創造活動への積極的な参加
- 環境学習⁹⁷などを通じた自己啓発
- 生物多様性に関する理解（再掲）
- 子どもたちへの学習機会の積極的な提供

【町内会・NPO等】

- 環境の保全・創造活動の実践を通じた市民への理解促進

【企業等】

- 町内会、NPO、行政などと積極的に連携した環境の保全・創造活動の実践
- 企業内の研修などによる環境の保全・創造に関する意識の向上

【行政】

- 学校と環境関連施設⁹⁸との連携強化などを通じた環境教育の充実
- 市民、企業などの主体的な行動につなげるための環境の保全・創造に関する理解促進と人材の育成
- 子どもたちが、自然・環境を守り育てる意識を醸成する機会づくり・場づくりの推進

⁹⁶ 【地球温暖化】人間の活動により、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増加し、地球全体の気温が上昇する現象

⁹⁷ 【環境学習】持続可能な社会の構築を目指して、家庭、学校、職場、地域などのあらゆる場において、環境の保全についての理解を深めるために行われる学習及び教育

⁹⁸ 【環境関連施設】戦略ビジョンでは、円山動物園や青少年科学館など、環境教育に関連する施設

第6節 文化 ～創造性を育む～

<現状と課題>

社会経済情勢が大きく変化する中で、札幌・北海道の資源を有効に活用し、まちの魅力を効果的に伝えることにより、北海道全体の地域振興や産業振興などに結び付け、市民生活を豊かなものとしていく取り組みが求められています。

札幌には、世界的に評価の高い文化芸術・スポーツに関する施設やイベントが多数あり、市民の創造性を育む基盤が整っています。

また、文化芸術・スポーツは、人々に感動を与え、その感動は人々を刺激し、新たな行動を起こすきっかけをつくっています。そして、その行動を新たなコト、モノを生み出す創造的な活動へとつなげていくことが求められています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

ー文化芸術・スポーツによる創造性の育みー

札幌には市民が身近に文化芸術やスポーツに親しめる環境が整っています。文化芸術やスポーツを通じて育まれる創造性を地域の活性化や産業の発展に結び付け、まちの活力を維持、向上させていくことが重要です。

また、年間6mもの雪が降る特徴的な風土や歴史が作り出してきた独自の文化やライフスタイルに代表される札幌の魅力を市民一人ひとりが再認識し、誇りを持って発信していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 18 創造的な活動により活力あふれるまちにします
- 19 文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします
- 20 市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします

基本目標

18 創造的な活動により活力あふれるまちにします

将来のまちの姿

- 文化芸術やスポーツが、市民に感動や刺激を与え、市民の感性や創造性を育むことで、生活を豊かなものになっています。
- 子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、見るだけではなく、自ら文化芸術やスポーツを楽しむことで、充実した生活を送っています。
- 文化芸術やスポーツからつくり出された人と人との交流がまちづくりに発展し、まちの活性化へとつながっています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- 文化芸術の鑑賞、創作・表現活動への積極的な参加を通じた交流
- スポーツ活動への参加を通じた交流

【企業等】

- 市民や地域の文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力

【行政】

- 文化芸術やスポーツを活用したまちづくりや交流の促進
- 高齢者や障がい者も文化芸術やスポーツに気軽に参加できる環境づくり

基本目標

19 文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします

将来のまちの姿

- 文化芸術やスポーツが多くの人を集め、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などのさまざまな分野で生かされています。
- 文化芸術やスポーツが、食や観光などさまざまな産業分野と結び付くことで新たな付加価値を生み出し、まちににぎわいと活力があふれています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民・企業等】

- 文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力
- 各産業分野における文化芸術やスポーツの積極的な活用

【行政】

- 集客力のある文化芸術やスポーツの振興と戦略的な活用
- 文化芸術やスポーツの観光、食、健康・福祉分野への活用の促進
- 国際的な芸術祭の定期的な開催
- メディアアーツ⁹⁹などを活用した創造的な産業の振興

⁹⁹ 【メディアアーツ】ユネスコ創造都市ネットワークの登録分野のひとつで、デジタル技術などを用いた新しい芸術表現。映像、演劇・舞踊(パフォーミングアーツ)なども含む幅広い表現であり、創造的な産業にも波及する概念

基本目標

20 市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします

将来のまちの姿

- 雄大な北海道の中にあって、四季折々の豊かな自然と快適な都市機能を備えている札幌は、そこに暮らす人、そこを訪れる人を刺激し、その創造性を育てています。
- 世界の大都市の中でも降雪量が突出している札幌は、独自の冬の文化を形成しており、厳しい冬の生活環境の中でも、雪を楽しむ魅力あるイベントやウィンタースポーツなどが、まちににぎわいを与えています。
- 札幌らしいライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人ひとりが再認識し、その魅力を高め、誇りを持って多様な手段により国内外に発信することで、世界のさまざまな人々と交流しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民、企業等】

- 札幌の魅力を楽しむライフスタイルの確立
- 札幌らしいライフスタイルの積極的な発信
- 札幌の魅力である雪を楽しむイベントやウィンタースポーツへの参加

【行政】

- 戦略的なシティプロモートの推進
- 文化芸術やスポーツを活用した交流の促進
- 市民や札幌を訪れる人々が雪を楽しむイベントやウィンタースポーツの推進
- 歴史や文化、景観、観光など札幌の魅力に関する情報の収集・発信

第7節 都市空間 ～魅力と活力のある都市の形成～

<現状と課題>

これまでの札幌のまちづくりは、人口や産業の集中に対応するため、計画的に市街地を整備・拡大してきましたが、今後は、人口減少・超高齢社会の到来や地球環境問題の深刻化などに対応するため、大きな転換が求められます。

そのため、これからの都市空間の形成に当たっては、今ある都市の魅力と活力の向上を目指して、市民の多様なニーズを捉えるなど、きめ細やかな取り組みを積み重ねることが重要です。

また、急激な人口増加に対応するために整備してきた都市基盤の老朽化が進んでいることから、適切な維持・保全や、人口動態や年齢構成の変化に応じた既存施設の再配置などの見直しが必要です。

現状と課題を踏まえた重要な視点

—魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり—

自動車を持たない高齢者なども安心・快適に暮らせるとともに、市民生活や都市活動のエネルギー効率を高めるためには、公共交通を中心とした集約型のまちづくりが必要です。

国内外から多くの人々が訪れ、さまざまな交流や活動が活発に展開される都市となるためには、札幌の顔である都心部の魅力と活力を高めるとともに、まちにうるおいを与えるみどり豊かな都市空間の創出や、良好な都市景観の形成が重要です。

また、人口減少・超高齢社会を迎える中でも、市民生活や都市活動を支え続けるためには、上下水道などの都市基盤施設¹⁰⁰や市有建築物の計画的かつ効率的な維持・保全と併せて、特に市有建築物については、機能の複合化など、効果的・効率的な再配置が必要です。

基本目標の設定

基本目標

- 21 公共交通を中心とした集約型のまちにします
- 22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします
- 23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします
- 24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

¹⁰⁰ 【都市基盤施設】ここでは、都市基盤のうち、建築物を除く道路、上下水道、公園などをいう。

基本目標

21 公共交通を中心とした集約型のまちにします

将来のまちの姿

- 都心や地下鉄駅の周辺などに、多様な都市機能が集積され、さまざまな交流やにぎわいが生まれています。
- 都心の周辺部や地下鉄の沿線では、生活関連サービスの充実などにより、利便性の高い暮らしの場が形成されています。一方、郊外の住宅地では、ゆとりある良好な環境を生かした暮らしをしています。
- 日用品の買い物など、日常生活に必要なことは身近な場所で行えるとともに、市内の各地域をつなぐ公共交通網により、多様な都市機能が利用できることで、自動車を運転しなくても困らない暮らしをしています。
- 市民や企業は公共交通をみんなで支える意識を持ち、さらに利用者の利便性が向上することで、積極的に公共交通を利用しています。これにより、過度な自動車の利用が控えられ、移動にかかるエネルギー消費を抑えた社会となっています。
- 道路ネットワークの維持・充実が図られるとともに、駅施設やその周辺などのバリアフリー化が進むことにより、安全で快適な交通環境が実現しています。
- 高速道路と都心のアクセス性の向上や、北海道新幹線など広域的な交通ネットワークの整備が進められ、観光や物流の面で北海道経済の活性化にも貢献しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

- まちづくりの計画策定・活動への積極的な参画
- 公共交通機関の積極的な利用
- 自動車の適切な利用
- 環境負荷低減のための取り組み（再掲）

【企業等】

- まちづくりの計画策定・活動への積極的な参画
- まちづくりに必要な支援や専門的知識・技術の提供
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備（再掲）
- 環境負荷低減のための取り組み（再掲）
- 良好な空間形成を意識した企業活動の実施（再掲）

【行政】

- 土地利用計画制度¹⁰¹などの適切な運用
- 都市空間に関わる多様なまちづくり活動の支援や調整
- 地域の特性に合わせた機能の誘導や施設の配置
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援（再掲）
- 公共交通機関の利便性向上や利用の促進
- 安全で快適に利用できる道路ネットワークの維持・充実
- 広域的な交通ネットワークの整備
- 市民、企業などとの連携による、環境負荷を低減するまちづくりの推進（再掲）

¹⁰¹ 【土地利用計画制度】 都市づくりの諸施策のうち都市計画法に基づく制度の一つであり、土地の利用に関するルールを定め、個別の建築行為などを規制・誘導することによって都市づくりの目標の実現を図るもの

基本目標

22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします

将来のまちの姿

- 市民をはじめ、国内外からも多くの人を訪れる都心には、高次な都市機能が集積しているとともに、多様な活動を支える場など、人を中心とした魅力ある空間が形成されています。
- 創造的な活動の発信や担い手の育成など、文化と活力を創造する取り組みが展開されています。
- 豊かなみどりが充実することにより、うるおいや風格が感じられる都心にふさわしい街並みが形成されています。
- エネルギーの効率的な利用などにより、先駆的な環境低負荷型のまちづくりが展開されています。
- 市民や企業などが主体となった都心のまちづくりにより、それぞれの地域特性に合わせた良好な環境が形成され、地域の価値の維持・向上が図られています。
- 都心は北海道の中心としての役割を果たしながら、国内外に札幌・北海道の魅力を発信し続けるとともに、市民生活の豊かさを享受できる場が創出されています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民・町内会・NPO等】

- 都心のまちづくりに関わる計画策定・活動への積極的な参画
- 環境負荷低減のための取り組み

【企業】

- 都心のまちづくりに関わる計画策定・活動への積極的な参画
- 都心のまちづくりに必要な支援や専門的知識・技術の提供
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備（再掲）
- 環境負荷低減のための取り組み
- 良好な空間形成を意識した企業活動の実施（再掲）

【行政】

- 土地利用計画制度などの適切な運用（再掲）
- 都心のまちづくりに関わる計画などの策定・推進
- 市民や企業などが主体となった都心のまちづくり活動への支援
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援（再掲）
- 市民、企業などとの連携による、環境負荷を低減する都心のまちづくりの推進

基本目標

23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします

将来のまちの姿

- ▶ 市街地では、うるおいと安らぎを与えるみどりと、憩いや交流の場となるオープンスペース¹⁰²が十分にあり、それらを生かした、市民に親しまれる良好な都市景観が形成されています。
- ▶ 市街化調整区域¹⁰³では、森林や農地などの保全が図られているとともに、その特質を生かした土地利用が行われています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【市民】

○みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加（再掲）

【町内会・NPO等】

○みどりを保全・創出するためのまちづくり活動の実施や情報発信、市民などへの助言（再掲）

【企業】

- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備
- 所有地やその周辺などの緑化の推進
- 良好な空間形成を意識した企業活動の実施

【行政】

- 公有地のみどりの保全・創出（再掲）
- 市民・企業・地域との連携・協力によるみどりの保全・創出（再掲）
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援

¹⁰² 【オープンスペース】 戦略ビジョンでは、公園、広場、河川、農地、建築物の敷地内の空地など、建築物などによって覆われていない空間をいう。

¹⁰³ 【市街化調整区域】 都市計画法（第7条）により、都市計画に定める区域区分の一つであり、無秩序な市街化を防止するために、市街化を抑制すべき区域をいう。

基本目標

24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

将来まちの姿

- 市民の生活や都市活動を支え続けるために、老朽化が進んでいく上下水道などの都市基盤施設や市有建築物のライフサイクルコスト¹⁰⁴の縮減につながる計画的かつ効率的な維持・保全が進められています。
- 市有建築物については、機能の複合化など、効果的・効率的な再配置が進められています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

【企業】

- 地域ニーズに合わせた公共的サービスの提供を目的とした所有施設の活用

【行政】

- 都市基盤の計画的かつ効率的な維持・保全の実施
- 市有建築物の集約化・複合化や、民間施設との連携などによる効果的かつ効率的な市有建築物の配置の推進
- 市民、企業などへの都市基盤の現状や将来の課題に関する情報の提供

¹⁰⁴ 【ライフサイクルコスト】 製品や構造物などの調達・製造から使用、廃棄までの全般的な費用